

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

第53号

いちかわ

松永おさみ 後援会だより

事務所 市川市原木1-22-16

電話047-327-1470

HP www.matunaga-o.net

値上げ議案 使用料・国保税 修正して可決

市議会九月定例会は途中二十五年度決算審査特別委員会を四日間開催したことに伴ない九月五日開会十月三日迄の二十九日間にわたり開催されました。市長から提案された議案は条例の制定、改正が九件、補正予算五件、契約三件、決算認定外合計二十六件でした。この内受益者負担の適正化を図るため公の施設の使用料を三倍を上限として値上げをしようとするもの、又国民健康保険条例の改正では事業の健全運営を図るため課税限度額を引上げようとするもの以上二件については議会において審議の結果、上げ幅の縮減、実施を六ヶ月先送り、国保では低所得者層への配慮をした修正案を可決し、その外の諸案については市長提案の通り可決、認定されました。議員立法で敬老祝金支給条例を改正、来年度から傘寿の方々にも祝金を贈る、松永市議は今回も一般質問を行ない市の考え方を質しましたので以下概要をお知らせいたします。

80歳に敬老祝い金!!

九月議会で、私、松永は同僚の議員の協力を得て平成二十四年に廃止された喜寿の祝金のかわりに八十才の傘寿を迎えた方々に祝金五千円を贈るべく、敬老祝金支給条例の一部修正案を議員発議として提出し可決されました。長寿の節目を迎えた高齢者に対し敬老の意を表し、長寿を祝福するとともに市政八十周年の節目と重ねて祝える喜びを感じております。対象者は約三千人。なお、88才の米寿二万円99才の白寿三万円、百才の五万円は従来通りですが、百一才以上は毎年一万円となります。

原木二丁目の区画整理事業 進捗状況と市の対応を問う

原木2丁目街づくりにおける区画整理事業は原木中山駅の東南地域から真間川に至る一帯18・7haを対象に実施し良好な環境を備えた土地利用を進めようとするものです。設立準備委員十一名から出された技術的援助申請を市が受理して四年が過ぎようとしているこの間の動向と見通し、市の考え方を伺った。

質問①事業の進捗状況と見通しについて市はどのような把握しているのか。

②事業の技術支援について市の対応と見通しと対応は答弁①事業協力会社が古くからの地権者六十一名の意向調査を実施した結果を踏まえ、事業可能な区域と判断した有志十一名が連名で組合設立準備委員として施行のため法に基づく技術的援助の請求を市が受理したことを受け認可権者の県や庁内関係部との調整をしている。県が求めている地権者一、二名の九十%の同意を満たすにはまだまだ時間を要すると考えている。

②事業協力会社は地権者に理解を求めため意見交換会を行っているが合意形成が進まず苦慮していると聞いている。申請受理から四年が経過していることもあり、準備委員、事業協力会社の意見を伺い事業の方向性を判断したい。

八十周年記念式典

市川市が昭和九年十一月三日に当時の市川町、八幡町、中山町、国分村が合併して市制を誕生してから今年には八十年の節目の年を迎え、その記念式典が十一月三日、十時から文化会館で開催されます。

田尻の二本の市道

拡幅整備を急ぐべき

質問①市道6146号はマンション街から駅に通じる主要道路だが途中の水田の場所は幅員3・6mしかなく車の交叉は出来ず危険なので早急に拡幅されたい。

②市道6148号は永谷マンションの前から駅、学校へ通じる道路で途中の両側、畑の場所は3mしかなく狭隘であり危険度は高いので安心安全確保に向け整備を図られたい。

答弁①水田部分の側溝を道路まで嵩上げして安全対策を含め改善するよう検討する。

②狭くなっている区間で現在共同住宅が建設中で完成すると4mに拡がる。以上2本の市道は市事業による拡幅と民間事業者によるセットバックによって改善が予定されている。

原木自治会 認可地縁団体となる

地方自治法第二六〇条の二の定めるところにより、原木自治会(会長原木一正氏)がこの度諸般の手續を済ませ市川市長から地縁団体としての認定を受け市内で二二五自治会ある中で十七番目の自治会となりました。原木自治会は地域内人口七、四七三人で、内、今回の同意者は、三、八八三人(52%)でした。従って新築をした自治会館も原木自治会名義で登記が完了し、自治会員の共有財産となり一安心です。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

その他、一般質問で前回に引き続き二俣国設宿舍の跡地利用(未だ、具体的な進展なし)と地方交付税について、併せて市税の滞納整理を担当し実績を上げている納税債権管理課の状況についても質問をしました。

紙面の都合で割愛しますが、どうぞご了承下さい。

黒字50億円 25年度決算

二十五年度の決算認定案件が提案され、特別委員会で審査の結果多数をもって認定されました。その中で四年振りに形式収支・実質収支とも五十億円余の黒字となりました。厳しい財政運営が強いられている昨今ではありますが、多額にのぼる黒字を生じたことは評価に値する訳ですが国からの地方交付税が不交付団体となったことは残念であり何らかの対応の必要性を感じます。

原木の一、三丁目境に

新しい橋を架けて欲しい

質問「真間川で寸断されている市道7003号と7008号を接続する橋の新設は防災上の避難路としても不可欠と考える。そして予算については日本中央競馬会から交付される環境整備寄付金(本年度は二億三千五百万円余)の区域内の事業なのでこの原資をぜひ投入して欲しい」

答弁「地元から従来の利便性と地下横断道の防災面からの意見、要望を受けている。今回は歩道橋の架設について検討を行っている。今後原木橋周辺の歩行者と自転車の交通量調査を実施して、建設費を含めた橋の検証を進めてまいりたいと考える」

予 告

新春の集い・市政報告会

松永おさみ市議の後援会「松栄会」の恒例の新春の集いを開催します。ぜひご参加下さい。

平成二十七年一月二十五日(日)

午後五時三十分開会

フローラ西船 会費五千円